

りんご・落葉果樹・かんきつの害虫防除に

ロディー[®]

水和剤

優れた速効性

広い殺虫スペクトラム

収穫期でも
使用しやすい

適用拡大

「なし」の「コガネムシ類」
「うめ」の「モモヒメヨコバイ」

※詳細は裏面でご確認ください。





適用作物・害虫と使用方法

農林水産省登録 第17116号 [殺虫剤分類 3A] [有効成分] フェンプロパトリン・10.0%

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フェンプロパトリンを含む農薬の総使用回数			
かんぎつ	アブラムシ類 ミノガ類	1,000~2,000	200~700 ℓ/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	9回以内 〔噴射は5回以内、散布及びくん煙は合計4回以内〕			
	チャノキイロアザミウマ	2,000								
	ハスモンヨトウ	1,000								
りんご	シンクイムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類 ハマキムシ類 カメムシ類	1,000~1,500		収穫前日まで	2回以内		7回以内 〔噴射は5回以内、散布は2回以内〕			
	ナミハダニ リンゴハダニ ギンモンハモグリガ	1,000								
	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 コガネムシ類	1,000~1,500								
	カメムシ類 ハダニ類	1,000								
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類	1,000~1,500		収穫前日まで	5回以内		10回以内 〔噴射は5回以内、散布は5回以内〕			
	カメムシ類 ハダニ類	1,000								
もも	モモハモグリガ	1,000~2,000		200~700 ℓ/10a	収穫前日まで		2回以内	散布	7回以内 〔噴射は5回以内、散布は2回以内〕	
	アブラムシ類 シンクイムシ類	1,000								
すもも	シンクイムシ類	2,000	200~700 ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布	7回以内 〔噴射は5回以内、散布は2回以内〕			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	2,000								
かき	カキノハタムシガ チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類 ハマキムシ類	1,500	200~700 ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	8回以内 〔噴射は5回以内、散布は3回以内〕			
	ケムシ類	2,000						収穫前日まで	2回以内	7回以内 〔噴射は5回以内、散布は2回以内〕
	モモヒメコバイ									
	ケムシ類	2,000~4,000						収穫7日前まで	3回以内	8回以内 〔噴射は5回以内、散布は3回以内〕
アブラムシ類 ノコメガリキリガ										
うめ	アブラムシ類 ノコメガリキリガ	2,000~4,000	200~700 ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	9回以内 〔噴射は5回以内、散布及びくん煙は合計4回以内〕			
	アブラムシ類 カメムシ類	2,000								
びわ	アブラムシ類 カメムシ類	2,000	200~700 ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	9回以内 〔噴射は5回以内、散布及びくん煙は合計4回以内〕			
	アブラムシ類 カメムシ類	2,000								

2022年12月現在の登録内容

上手な使い方

適期散布を行ってください

害虫発生初期の防除がより効果的です。

均一散布を行ってください

薬液のかかりにくい葉裏、下葉等にもむらなく散布するよう心がけてください。

使用上の注意事項(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ① 内袋はぬれた手で触れないようにしてください。
 - ② 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましいです。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切ってください。
 - ③ 薬液調製の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく攪拌してください。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発生しやすいので、本剤の連続使用はさけ、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用してください。また、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努めてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

数種の害虫の併殺効果を狙えます

多種類の害虫が混発するりんご、落葉果樹、かんぎつの害虫防除に威力を発揮します。

連用はさけてください

過度の連用はさけ、作用機作の異なる薬剤との体系防除を行ってください。

収穫期でも使用しやすい薬剤です

りんご・なし・もも・すもも・おうとう・びわは収穫前日まで、かんぎつ・かき・うめは収穫7日前まで使用可能です。

- ボルドー液と混用する場合は使用直前に混合してください。
- なしのハダニ類及びりんごのナミハダニに対する残効は、短い傾向があるので留意してください。
- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指導を受けてください。
- 粉末は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意してください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 摘果等の作業の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にからないようにしてください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 室に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、薬に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

04R12L22R29;J2

2022年12月作成(ジェイツ・コンプレックス)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
 お客様相談室 ☎ 0570-058-669
 農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>
 住友化学アグリ事業部

